

## [ 場所の表示 ] パネル – 位置の保存

表示画面のサイドバーにはオプションで [ 場所の表示 (Show Places) ] パネルがあります。これは地図縮尺と地理座標を用いて、あるいは地物や関心のある地域の名称を検索して指定した場所を拡大表示するものです。頻繁に参照する画面に名前を付け保存することもできます。[ 場所の表示 ] パネルはサイドバーに任意に表示して簡単に利用できるパネルの1つです。これらの各パネルやサイドバー全体はマウスクリックひとつで開閉できます。オプションの [ 凡例 (Legend) ]、[ 拡大鏡 (Magnifier) ]、[ ロケータ (Locator) ] 等のサイドバーパネルツールについてはテクニカルガイド「空間表示：サイドバーと拡大鏡ツール (Spatial Display: View Window Sidebar and Magnifier)」で解説されています。

[ 場所の表示 ] パネルでは以下の操作ができます。

- カスタムまたは事前に用意されたズームスケールを使用した [ 目的地の拡大 (Zoom to Location) ] ツール
- マイクロソフトの Bing Maps 位置検索サービス
- ある特定の場所に画面を再配置するための位置の保存機能

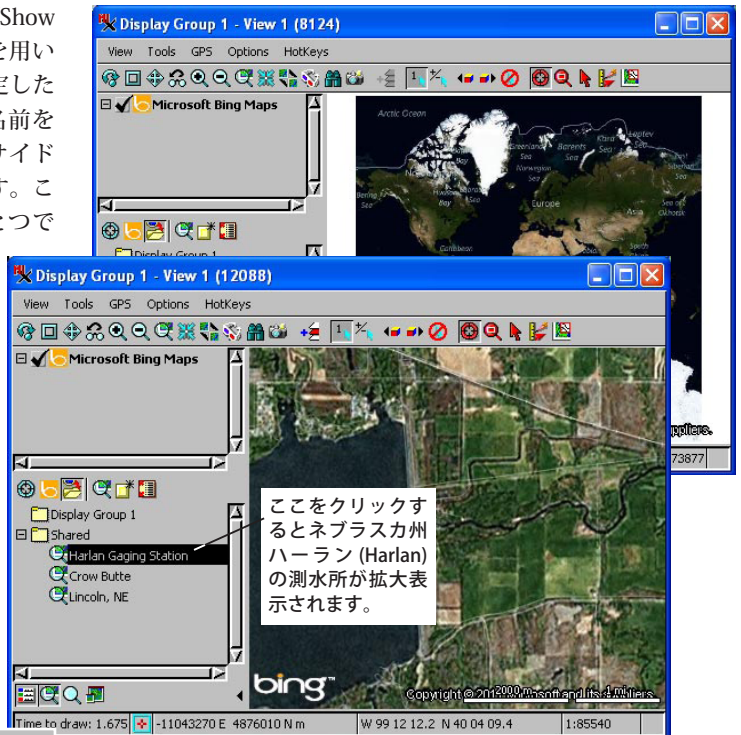
### 保存した位置

[ 場所の表示 ] パネルにおいて [ 保存した位置 (Saved Location) ] オプションを選択すると、デフォルトで2つのフォルダが表示されます。1つはグループやレイアウト用で、凡例にフォルダを表示しています。もう1つは開いている全てのグループやレイアウトで使用可能なコンテンツを表示します。個々のグループやレイアウトに応じたフォルダ中に保存された位置情報はグループやレイアウトが保存されるまでのその時の表示だけの一時的なものです。保存したグループやレイアウトをその後の表示セッションで開くと、[ 位置の保存 ] フォルダ中に保存された位置情報が再度利用可能になります。[ 共有 (Shared) ] フォルダ中のコンテンツは表示セッションが切り替わっても保持され、開いている表示画面すべてで利用可能です。

[ 保存した位置 ] の操作には2つの関連するアイコン [ 現在の表示画面の追加 (Add Current View) ] と [ フォルダの追加 (Add Folder) ]、及び [ 詳細設定 (Preferences) ] アイコンがあります。保存した位置を拡大表示するには、リストの項目の上でクリックします。開いているどの画面からも [ 共有 ] フォルダの任意の位置を拡大表示できますが、クリックした項目のある表示画面だけがその位置に再配置 / ズームされます。

#### 現在の表示画面の追加

[ 現在の表示画面の追加 ] アイコンをクリックするとウィンドウが開きます。現在表示中の範囲に名前を割り当てれば、後でまた表示を呼び出すことができます。名前を付けた位置は選択したフォルダ (反転表示) のリストか、またはフォルダが選択されていなければ [ 共有 ] フォルダのリストに加えられます。



#### フォルダの追加

画面の範囲を位置の保存として追加する時のように、ウィンドウが開いて保存した位置をひとまとめにしておく新規フォルダを作り、それに名前を付けることができます。新規フォルダはリストで選択されたフォルダのサブフォルダとして、もしくは、リストで何も選択されていなければ [ 共有 ] フォルダのサブフォルダとして追加されます。

#### 詳細設定

[ 保存した位置 ] の操作に対する唯一の設定は、その時のグループの範囲外の結果を表示するかしないかです。Bing Maps サービスオペレーションを使う時のように (テクニカルガイド「空間表示：[ 場所の表示 ] パネル – Bing Maps サービス (Spatial Display: Show Places Pane – Bing Maps Service)」を参照)、その時のグループの範囲外の場合、レイヤ名が [ 保存した位置 ] リストに灰色で表示されます。



表示画面に広域の範囲を持つレイヤを含まない場合、あなたの保存した位置のいくつかは表示しているレイヤ範囲内に収まっていないかもしれません。そのような位置はリストにグレイアウトして表示されます。